

新山協ニュース

▲ 発行者 平田大六 ▲ 発行所 新潟県山岳協会
〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男方 TEL 0258-32-0428

パンジャブ・ヒマラヤ

遠征を終えて

登山隊長 田中純夫

遠征計画が具体化したのが2月、そして登山を終えて帰国したのは9月。この間約7ヶ月、海外遠征の準備期間としては短いものであったが、それでも打合せ、交渉と非常に忙しい毎日であった。

遠征実現に向けて立てた目標は二つ。一つは将来を展望に入れてのヒマラヤ経験者の育成。そしてもう一つは、ヒマラヤを中心とした越後の岳人の横の連繋の深化。

遠征を終えたいま、この二つの目標はそれなりに達成されたのではないかと思っている。具体的にはほとんどの隊員が登頂を含めて、高度障害を克服しながら、5000メートル以上での登攀活動をする事が出来たということ、また遠征隊を送り出す山岳諸団体の層の厚さと、海外遠征に対する関心を発掘、確認することが出来たということ。

8月3日 壮行会、9月27日 報告会

成功であったと公言出来る遠征内容であった訳だが、これも県山協役員の皆様方や各山岳団体の協力があったのとであって、ここで紙面をかきりて厚く御礼を申し上げます。

遠征の概要について以下に略記したい。

8月17日 成田空港よりイスラマバードへ向う。

8月18日 イスラマバードより空路でギルギットへ向うが、雲が多く着陸出来ず、また引き返す。そこでバスに乗り換えてカラコルム・ハイウェイを21時間走り、19日朝ギルギット着。

8月20日 ギルギットよりジープでタルシン村へ。

8月21日 タルシンより7時

間のキャラバンでB・C地点のラトボー着。ここはR・メスナーのB・Cがあったところ。

8月22日 マゼノ隊(6名)シャイギリ隊(6名)に別れてそれぞれABC建設に向う。

8月24日 マゼノ隊、阿部信一、加藤いずみ、マゼノ・パス(5360m)登頂。

8月25日 マゼノ隊、田中純夫、マゼノ・パス登頂。シャイギリ隊、外丸辰雄、五十嵐欣也、阿部修一、山名尚美、斎藤明美、村山秀人、シャイギリII峰

8月26日 阿部信一、25日にマゼノ氷河よりシャイギリ谷に転進したのち、午後3時、シャイギリ・ピーク(5971m)登頂。

8月27日 全隊員、それぞれのABCよりB・Cのラトボー着。

8月28日 6時間のキャラバンでタルシン村に到着後、すぐにジープでギルギットへ向う。午後10時着。

8月29日 ギルギットからバスでカラコルム・ハイウェイをフンザへ向う。フンザのミール(藩王)の旧城を見学。夜は密造のフンザ・ワインを飲み、民族音楽、民族舞踊の夕べ。

8月30日 午前中フンザの観光をしたのち、ギルギットへ向う。雨のため道路破損箇所2ヶ所。足留めをくう。

8月31日 チラスよりカラコルム・ハイウェイでラワンピルデイへ。

(5750m)登頂。

8月26日 阿部信一、25日にマゼノ氷河よりシャイギリ谷に転進したのち、午後3時、シャイギリ・ピーク(5971m)登頂。

8月27日 全隊員、それぞれのABCよりB・Cのラトボー着。

8月28日 6時間のキャラバンでタルシン村に到着後、すぐにジープでギルギットへ向う。午後10時着。

8月29日 ギルギットからバスでカラコルム・ハイウェイをフンザへ向う。フンザのミール(藩王)の旧城を見学。夜は密造のフンザ・ワインを飲み、民族音楽、民族舞踊の夕べ。

8月30日 午前中フンザの観光をしたのち、ギルギットへ向う。雨のため道路破損箇所2ヶ所。足留めをくう。

8月31日 チラスよりカラコルム・ハイウェイでラワンピルデイへ。



シャイギリ・ピーク (5,971 m)

左の台地状のところがシャイギリII峰



マゼノ・パス (5,360 m)

カラコルム山系を含む
パキスタンについては、
主要幹線のカラコルム・
ハイウェイを中心にして
多くのジープ道が山懐深
く入っている。このため
遠征期間の短縮や物資の
輸送の面で便利な点が多
く、また夏でもモンスー
ンの影響が少ないため、
夏期の登山活動が可能で
ある。こんなところから
本県でもパキスタンの登

9月1日 ラウルピンディ、
イスラマバードの市内観
光。
9月2日 イスラマバードよ
り成田へ。
今回の遠征にあたってはパ
キスタンの登山家ナジール・
サビル氏の現地での協力なく
してはこれほど豊かな内容で
行動を展開することは出来な
かったものである。同氏はこ
れまで県山協行事の海外登山
懇話会にお招きしたことがあ
るが、これからも同氏とのつ
ながりはより深いものとして
行きたいものと思っている。
高度障害については、全隊
員に程度の差こそあれあった
のであるが、うち2名につい
ては最後まで回復することが
なく、キャラバンでの移動の
際は馬とかロバを使用すると
いう具合であった。キャラバ
ンの前進については常に悩む
ところであったが、それでも
遠征期間中は薬剤投与により
何とか耐えられるという状態
であったため、登山中止、下
山というような状態にならず
に済んだのは幸いであった。
ある程度の人数の隊になると
必ずや順化出来ない人はいる
もので、この点については出
発前からその対応について考
えておく必要がある。

山はもっと積極的に推進して
よいのではないかと思つた次
第である。
なお今回の遠征のその後
については、現在残務整理に追
われている最中のため、すぐ
に次の遠征について考えるの
は軽卒の誹を免れないが、そ
れでもいくつかの素案は浮ん
でくる。一つは8000メー
トル峰の未踏ルート、もう一
つはチベットなど辺境の60
7000メートルの未踏峰と
いった具合である。これにつ
いては今後具体的につめて行
きたいものと思つている。

- 遠征隊員(12名)
- 田中純夫(悠峰山の会)
 - 本間正博()
 - 阿部信一(新潟山岳会)
 - 阿部一人()
 - 阿部陽子()
 - 斎藤明美()
 - 五十嵐欣也()
 - 村山秀人()
 - 阿部修一()
 - 山名尚美(テラシネ山の会)
 - 外丸辰雄
 - (山岳同好会新潟望遠)
 - 加藤いずみ(九期山の会)
- なお遠征隊報告書は近日刊
行する予定です。

杖差岳は、熱を入れている
時でもありましたが、光鬼山
はまだ登つてなく、また、温
泉郷も雲母温泉が開湯されて
間もない頃でした。
年末にも日本山岳会入会の
事で手紙を戴きましたが、越
して起つた、亀田山岳会の
遭難騒ぎになった飯豊冬山縦
走直後に戴いた手紙には、こ
の捜索に触れてあり、筆まめ
な事を伺い知ることができま
した。
山行後の記録整理は、マメ
な方だとお聞きもし、私達に
も会誌などに発表することを
勧めていました。
私が後年、国鉄山岳連盟に
関係した時にも、同じような
ことを同会長が話されてお
りました。
今もって修正のできない筆
不精の私には、常日頃の目標
に藤島さんを掲げているとこ
ろです。

三周忌

藤島玄先生 思い出の綴

③

藤島さんからの手紙

坂井厚

昭和34年秋、藤島さんから
1通の手紙を受けました。
「湯沢・高瀬・鷹ノ巣・雲母」
の各温泉の内容等々を、筆を
持つてもらいたいとの文面で
杖差岳・光鬼山などの一般
集に関わるものでした。



山岳競技の見方 ①

山岳競技の発祥と経過

昭和21年、第1回国体が京阪神を中心に開催されたとき、登山は「山岳部門」として展覧会、講演会、映画上映などの形で行われました。以来、第2回医王山(石川)、第3回九重山で行われ、第4回の東京大会のとき、山岳部門は富士山で雪上技術講習会を兼ねて実施され、ようやく登山大会の形態が生まれてきました。

その後、日本の登山界は全国的に組織され、46都道府県に山岳連盟(協会)が誕生し、国体山岳部門は公開競技として、縦走登山形式による競技が行われてきました。

昭和35年、社団法人日本山岳協会(以下「日山協」といふ)が設立され、発足の母体となった日本山岳会及び全日本山岳連盟の意向を引継ぎ指導員制度を基礎とする技術の標準化や海外登山研究などを推進発展させ、国体山岳部門

和55年度栃木国体から正式に得点競技することを決定しました。日山協はこれに対応するため、第32回青森国体において、種別の中に少年女子を

種目の中に踏査競技を加え、順位による表彰を実施しました。更に第33回長野国体から成年女子及び登攀競技(成年男子のみ)を加え、4種別、3種目の現在の形式が確立し、第34回宮崎国体を経て第35回栃木国体から正式競技の仲間入りをしました。以後、回を重ねるごとに競技としての形が整い、第37回鳥根国体で山岳競技実施基準が制定され、第38回群馬国体は、競技場の公開と標準時間の発表、また39回奈良国体では規定重量の軽減など2巡目を目標に改善がなされました。

第40回鳥取国体からは、これを更に前進させるため、競技時間の短縮、公表事項の拡大、書式の整備、縦走特区を1ヶ所にするなど他、全コースにスタートチャイムとコンピュータ(自動計時記録機)を導入するなど山岳競技の合理化への努力がなされていま

2巡目を迎え、第43回京都国体はさまざまな角度から検討が加えられ、名実ともに新しい時代の幕明けとなりました。まず、種別別総合成績の順位決定方法が総点制から各種目の高順位制に切り替えられたこと。競技日程が1日短縮されたこと。登攀競技は2名で行い、懸垂下降をなくした

こと。これにより成年男子は23チーム2隊編成になったこと。踏査競技においてコース確認方式が初めて導入され、定点方式と組合わせて実施されること。課題票が範囲を限定し、読図票に改められたこと。縦走競技においては計画書を採点対象からはずし、参加要件としたこと。幕営が全廃されたことなど、多くの点にわたって改正が加えられたものまだまだ議論が尽くされたい。

国体で行われる山岳競技もこの標準技術の体系上にあつて、普遍的、客観的に審査できる登山の要素を採点化して、それらの技術を競技の場を通じて、より高くするとともに、より広く普及しようとするも

1ター機器を活用して競技結果の速報性を高める努力がされ、誰にでも分かる山岳競技、親しまれる山岳競技を目指しています。

以上のように、回を重ねるごとに競技としての整備が図られてきましたが、競技規則、基準の関係で実施が見送られたものなど今後の課題となっています。

日山協は、このような意味で幅広く活動している日本の登山者のまとめ役として、いろいろな事業を行っています。各種の研修会、講習会、遭難防止、自然保護の推進、海外登山の実践、技術書の出版等がそれでありま。そして、これらを通じて全国の登山者の合意でまとめられた登山の標準技術を、指導員制度を中心にしてその普及に努めています。

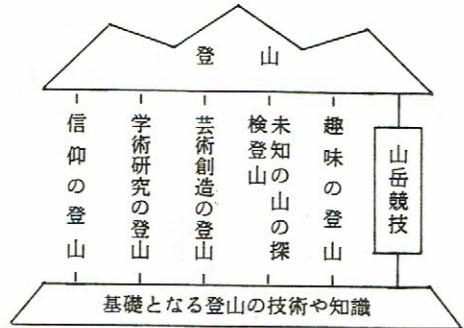
この標準技術の体系上にあつて、普遍的、客観的に審査できる登山の要素を採点化して、それらの技術を競技の場を通じて、より高くするとともに、より広く普及しようとするも

国体で行われる山岳競技もこの標準技術の体系上にあつて、普遍的、客観的に審査できる登山の要素を採点化して、それらの技術を競技の場を通じて、より高くするとともに、より広く普及しようとするも

国体で行われる山岳競技もこの標準技術の体系上にあつて、普遍的、客観的に審査できる登山の要素を採点化して、それらの技術を競技の場を通じて、より高くするとともに、より広く普及しようとするも

競技です。

1. 山岳競技は、日山協が定めた登山の技術や知識を正しく、広く普及し、事故防止と登山の振興をはかることを目的とする競技です。
2. 山岳競技は、登山で実践している技術や知識のうち、競技として判定できる事項を競技規則として行う競技です。
3. 山岳競技は、自然を競技場として、競技規則に定められた方法で登山の技術や知識を正確迅速に展開する



ねんりんピック90に参加して

第3回全国健康福祉祭、琵琶湖大会が9月29日から4日間、滋賀県の琵琶湖周辺の市町村を会場として盛大に開催された。

そのなかで、登山部門は初めての企画とあって、県山協より新潟県山岳協会への参加要請があり、当会からつぎのメンバーで出場した。

選手リーダー 池田藤三 中

村武雄 田上八重子
監督 田中辰二

前日の28日午前、県出場選手全員がワシントンホテルでの結団式に集まり、金子県知事より激励を受けた後、それぞれの会場に向かった。

翌29日、台風21号を目前にしながらも、心配されていた開会式は、常陸宮、同妃殿下のご臨席を頂き、大津市陸上

競技場で開催され、その華やかさは、国体行事にも優るとも劣らないものであった。

※登山部門は別会場なので、後刻そのビデオを見ての感想である。

志賀町あげての歓迎を受けた、登山交流大会の開会式は、同町センターで盛大な幕を開けた。

この大会は、今回初めて導入された新種目なので、その競技形式や実施方法など、主催者側の試行錯誤の末の労苦が伺われた。

比叡山系の最高峰、武奈ヶ岳を会場にして、全国から67チーム201名の選手が参加した。新潟県はCコースに出場した。

総合的な結果として、新潟県はCコースで優秀賞を受け、選手全員に賞状と楯が授与され、加えて池田選手は「しゃくなげ賞」の荣誉に輝いた。

また、健康づくり教室では、登山家今井通子氏の「中高年登山者の健康管理と安全登山のあり方について」の講義には、誰もが深い感銘を受けた。

この大会は、次年度は岩手県、次々年度は山梨県での開催が約束されており、これに

(中村 武雄)

菅名山岳会
文部大臣賞受彰

菅名山岳会は、昭和36年5月に結成以来今年で30年となりました。

結成以来地味で目立たない菅名岳が藪で覆われていたころから、少しずつ登山道の整備、標識や指導標の設置、安全登山の啓蒙活動にかかわり今日を迎えました同会が、この度「体育の日」を記念して制定された社会体育優良団体(スポーツクラブ)として文部大臣から表彰されました。

地道な30年の活動が対象になったものと、会員一同大きな喜びに包まれておられます。また30周年を記念して蒲原三山リレー登山を、成功裏に実施された事は会員各位も記憶に新しいことでしょう。

これらの慶事に祝福申し上げ、同会の更なる発展をされることを祈りご紹介とします。

登山用品専門店

— 信頼できるパートナー —
大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736

なお祝賀会は左記日程で実施されます。

日時 平成2年11月23日(金)
会場 五泉市寺沢3丁目
「ミナミ清風園」
問合せ 中村由夫
☎025014211677